

図 - 4 2次系配管の点検等

点検概要

(点 検)

今定期検査において、1,331箇所について超音波検査(肉厚測定)を実施した。

2次系配管の管理指針に基づく超音波検査(肉厚測定)

	「2次系配管肉厚の管理指針」の点検対象部位 [< > 内は、定検開始時点]		今回点検実施部位 [< > 内は、定検開始時点]	今回点検実施後の 点検未実施部位 [< > 内は、定検開始時点]
	総 数	うち未点検部位		
主要点検部位	1,037 <1,037>	0 <0>	787 ¹ <779>	0 <0>
その他部位	1,819 <1,819>	5 <5>	544 ² <528>	0 <0> ⁴
合計	2,856 <2,856>	5 <5>	1,331 ³ <1,307>	0 <0>

- 1: 主要点検部位の点検実施部位787箇所は、配管取替え後の初期肉厚測定部位 174箇所を含む
- 2: その他部位の点検実施部位544箇所は、配管取替え後の初期肉厚測定部位 189 箇所を含む
- 3: 定期検査開始時からの変更内容

	今回点検実施部位	理 由
主要点検部位	+ 8	・配管取替え範囲見直しによる変更
その他部位	+ 16	・配管点検範囲見直しによる変更: + 3箇所 ・配管取替え範囲見直しによる変更: + 7箇所 ・他プラントの減肉事象を踏まえた変更: + 6箇所
合計	+ 24	

4: その他部位の未点検部位5箇所については取り替えたことから、今定期検査終了後の未点検部位は0箇所となった

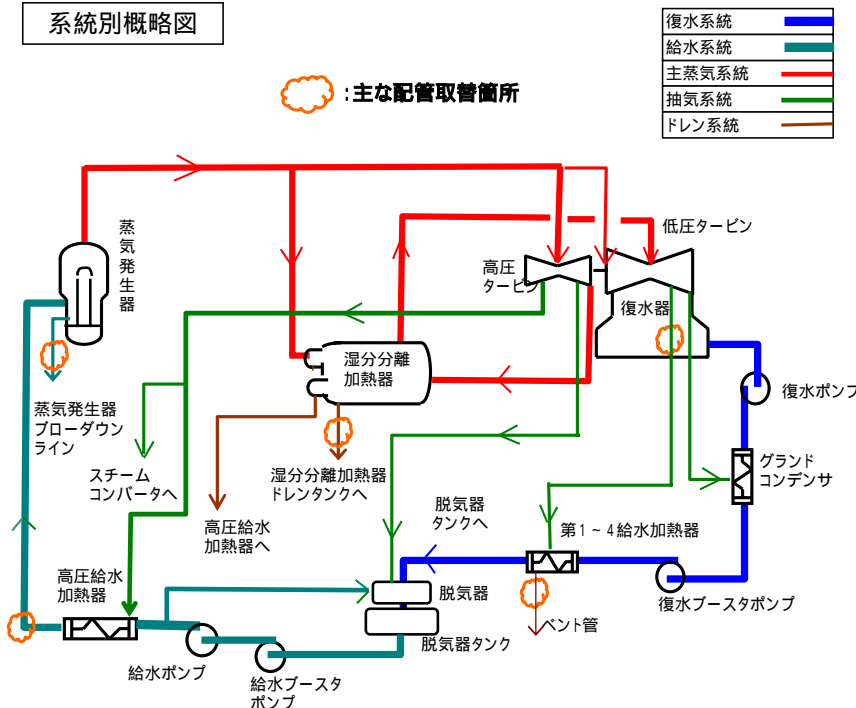
(結 果)

計算必要厚さを下回る箇所、および余寿命評価で次回定期検査までに計算必要厚さを下回る可能性があるとして評価された箇所はなかった。

取替概要

今定期検査開始時には、330箇所の配管取替えを計画していたが、保守性・作業性の観点から40箇所を追加し、合計370箇所について配管を取り替えた。

系統別概略図



- 【取替理由】
- 余寿命10年未満で減肉が確認されたため取替え(27箇所)
 - ・炭素鋼 ステンレス鋼 26箇所
 - ・ステンレス鋼 ステンレス鋼 1箇所
 - 配管の保守性を考慮して取替え(326箇所)
 - ・炭素鋼 ステンレス鋼 310箇所
 - ・炭素鋼 低合金鋼 16箇所
 - (当初計画303箇所に23箇所を追加した)
 - 配管取替えによる作業性を考慮して取替え(17箇所)
 - ・炭素鋼 ステンレス鋼 17箇所
 - (新規に17箇所を追加した)
- 取替箇所数合計 : 370箇所